

原告の根岸志のぶです。(1枚目)

このような機会をつくっていただきありがとうございます。

公園を守ろうとこの3年間に渡り続けている私たちの活動についてお話しします。裁判に訴えた私たちのやむにやまれぬ思いをお聞きください。

今年の平和の森公園では、森の樹木が伐採され、例年のような新緑を楽しむことが出来なくなりました。

(2枚目 つくし) 中野の町ではめったに目にすることが出来ないこの「つくし」も、(3枚目 しだれ桜) みごとに咲いた「しだれ桜」も、来年にはもう見られなくなるなどということは、決して我慢できません。

(4枚目 刑務所跡地基本計画) 平和の森公園は中野刑務所の跡に、1985年に開園しました。戦後すぐから20年かけて住民や議会、区が一体となって続けた、「刑務所移してみどりの広場と避難場所」という運動で実現しました。中野区民にとっては悲願の公園です。「如何なる理由があっても公園に付随する以外の施設は建設しないこと」という確認のもとに造られました。

休止・スライドを流す(5枚目 森、6枚目 広場、7枚目 ツツジ公園)

(8枚目) 「中野区みどりの基本計画」は、「公園リニューアルには日常的に利用する地域住民の意見を反映する」とはっきりうたっています。

(9枚目 中野区整備基本設計) ところが、2015年2月、区長は突然「平和の森公園をスポーツの拠点として再整備する」と表明しました。地域住民はこの再整備計画について一切知らされていませんでした。何の意見聴取もされてこなかった私たちは、到底納得することはできませんでした。

(10枚目 公園での集会) 私たちは、その年の6月には「緑とひろばの平和の森公園を守る会」を立ち上げ、様々な活動に取り組んできました。2015年11月1日、会の初めての集会には、周辺住民400人が公園に集まりました。

(11枚目 デモ行進) 250人が中野駅に向け「公園を守ろう」と訴えて歩きました。中野ケーブルテレビは「中野区は計画の理解を住民から得られていない」と報じました。

(12枚目 報道など) 2015年9月13日には、TBS「噂の!東京マガジン」に取り上げられました。その後、全国紙や「週刊プレイ・ボーイ」、「建築ジャーナル」、ネット報道などにも取り上げられました。中野区内だけでなく、全都、

全国に共感を広げてきました。約3年間で50号を超えるニュースを発行し、公園周辺にポステイングも続けています。

(13枚目 トーク会) 平和の森公園の生い立ちや防災公園としての役割、計画の問題点などについての学習会、トーク会も20回を超えています。

(14枚目 アンケート) 自らが行うべき住民アンケートをさぼった中野区に代わって、守る会では独自に公園利用者アンケートを実施しました。たった2週間で1,605人の回答があり、その9割の人が公園は今のままにと答えました。その結果をもとに、「公園再整備に区民参加を求める」請願を区議会に提出しましたが、否決されてしまいました。

(15枚目 署名・宣伝行動) 中野駅頭、区役所前、公園周辺、近隣公園などでの署名・宣伝活動なども、数十回にわたり続けています。

(16枚目 樹木調査) 区の計画によって切られる木を確かめるため、大勢の子ども達も参加して「樹木調査」を行いました。

(17枚目 写真展) 大切な公園の思い出や、遊びまわる子ども達の写真、カワセミ、お気に入りの木や、場所の写真を持ち寄り、4回の写真展も持ちました。

(18枚目 署名提出) 2017年1月からは「木を切らないで!!」要望署名を始めました。4月27日には10,785人の署名を田中区長へ提出しました。

意見交換会やパブリックコメントでも反対意見がほとんどでしたが、何の意見反映もされませんでした。

(19枚目 中野区自治基本条例) 「中野区自治基本条例」の3条には「区民は、区の政策の企画立案、検討、実施、評価及び見直しのすべての過程に参加する権利を有する。」とありますが、住民参加の機会の中野区によってことごとく踏みこまれ、私たちの願いは届きませんでした。

(20枚目 公園の森) 緑も公園も都内最下位に近い中野区にとって、平和の森公園はかけがえのない宝物です。

この区民の財産の管理を怠る中野区の姿勢を、私たちは決して許すことができません。これからの中野の子ども達のためにも、必死の思いを込め訴えるものです。

私は、原告の一人、岩村信弘と申します。

まず、3枚の写真をご覧ください。(21枚目 伐採前、22枚目 伐採後、23枚目 伐採後) 平和の森公園一期工事前の緑の樹木一杯の風景と中高木185本が伐採され、もはや「平和の森」とは言い難い無惨な光景です。どうして、これだけの樹木を伐採をしなければならないのか、この写真を見るだけで、怒りがこみあげてきます。

伐採する予定の図面です。この図面にある番号がついている木が全て伐採されてしまいました。(24枚目 伐採予定図面) この写真に写っている両側の木々も切られてしまいました(25枚目 森)。次の写真はひととき立派な楠木です。(26枚目 楠) この木に自らの命を託しガンと闘う中野区沼袋に住む田中さんの『私の守り木を切らないで!』と題した手記の一部を紹介します。

「私は5年前に喉頭がんになり放射線治療をしましたが、2年後に再発し、喉頭全摘出手術で永久気管孔になり声を失いました。(中略)自分ではあまり気にしない積りでいるのですが、どうしてもがんが再発するのでは、転移するのではと考えてしまうのです。でも毎日、雨の日も平和の森公園に行きます。行くと必ず一本の楠木の所へ行きます。年中濃い緑の葉を茂らせて、幹回りが155cmもある木、地上4mくらいのところで3本の幹に分かれています。木のもとから空を見上げると、3本の幹がお互いに『1本がダメになってももう1本が』と言っているように思えるのです。不思議ですね。大きな木には魂が宿ると言われています。それかも知れませんね。幹に手を当て、なでて、パワーをもらっているのです」 こんな 心からの命の叫びは踏みにじられ、この楠木も伐採されました。

次の写真は公園に飛んできたカワセミです。

(27枚目 カワセミ) 『カワセミと出会うこの喜びを最後にしたくない』と題して、新井在住の方がホームページに投稿してくれました。「立入り禁止の森を歩いている時、いつも野鳥を観察する場所に何とカワセミをみつけた。対岸の石を渡り歩き、パッと水に飛び込み、大きめの魚をくわえて、小生の近くで食べ始めた。その一部始終を20分も見届けることができるなんて、興奮した」。こんなリアルな光景を見ることももう出来ません。 次の写真です。

(28枚目 夜の平和の森公園観察会) これは何を撮影したものと思いますか? 毎年夏休みに、NPO『緑の学級』主催で行われる「夜の平和の森公園を観察する会」で『羽化』真っ最中のセミの姿を目を輝かせてじっと見守る子どもたちで

す。この感動を子どもたちは生涯忘れることはないでしょう。185本もの樹木の伐採によって、こうした観察もできなくなってしまいました。一度切られた樹木はもとに戻りません。しかし、公園の最も大切な財産をないがしろにしたことに、厳しい判断が下されることによって、こうした行為を繰り返すことのない、住民が主人公の中野区になっていくであろうことを確信しています。

### 3 原告の一人小林です。

平和の森公園は、中野区で唯一の何もない草地広場があります（29枚目 何もない草地広場）。多くの人々の憩いの場として、あるいは、身体を動かす場として愛されてきました。（30枚目 広場と子どもたち、31枚目 広場と高齢者）

広場を利用している方のお話を紹介します。一つ目は、この広場から歩いて5分のところにある0歳～2歳まで定員15名の保育園の保育士さんのお話です

（写真32枚目 保育園児、写真33枚目 保育園児）。「私の保育園は園庭がないので、天気良ければ毎日来ます。築山はよちよち歩きの子どもも安心して上り下りができ、草地の少しでこぼこしたところも子どもの体感を育てるのにとっても大切な場所です。他の保育園と一緒にすることも多いのですが、広くて何にもないので自由にのびのびと子どもたちを遊ばせることができます。」と話しています。また、私たち、守る会が中野区役所前で集会をしていた時、1歳ぐらいのお子さんをバギーに乗せて通りかかった若いママさんが「発言させて下さ」とマイクを向かって話をしました

（34枚目 広場で遊ぶ子どもたち、35枚目 たこ揚げ、36枚目 たこ揚げ）。その方は、「私は、子どもを外でのびのび遊ばせたいと思っていた時、緑豊かな森と広い草地広場があるこの平和の森公園を知り、引っ越しをしてきました。引っ越しをしてから再整備のことを知りました。こんな貴重な緑と広場が変わるなんて考えられません。なんとしても緑と広場を残してほしい」と涙ながらに訴えました。私はその姿を忘れることができません。子どもたちが伸び伸びと活動している草地広場、そこに、トラックができます（37枚目 草地広場に何ができるか）。このようなトラックです（38枚目 陸上トラック）。最後に雪の景色を紹介します（39枚目 雪が積もった築山）。今年雪が積もったときの築山の風景です。ご覧のように都会の中とは思えない風景です。今、子どもさんが

登ろうとしている築山、ここの半分にコンクリートの滑り台が作られる計画です  
(40枚目 コンクリートの滑り台)。元保育士の方は「コンクリートの滑り台になると雪が積もったら「危ないよ」と遊びを制限することにつながりかねません。夏は熱くて火傷の危険もあります。子どもが自分で考え行動できる場所が大事だと思います。」と話しています。

(41枚目 最後のスライド) 今のままの広場をぜひ残してほしいと思います。